



2014年7月23日

みなさん、こんにちは。

今回の「博物館だより」は、展覧会関連イベント「子ども創作ワークショップ」について、「ハウステンボス美術館学芸員による作品解説」の様子についてお知らせいたします。

◇◆◇◆◇◆◇◆◇◆◇◆◇◆◇◆◇◆◇◆◇◆◇

みんなでつくろう巨大な絵

7月19日（土）から始まった夏休み特別展「エッシャー100選」関連イベント（企画・指導：明石高専・水島研究室）

の子ども創作ワークショップ「みんなでつくろう巨大な絵」。このワークショップは1,000枚以上にもなるピースに来館者が色を塗り、壁一面に書かれた番号から決められた場所へ貼っていくと大きな作品が完成するというものです。どのような作品に仕上がるのか楽しみです。ぜひ、博物館へお越しいただき確認してみてください。※会期中開催、要観覧料。



◇◆◇◆◇◆◇◆◇◆◇◆◇◆◇◆◇◆◇◆◇◆◇

作品解説

7月19日（土）に「ハウステンボス美術館学芸員による作品解説」

（講師：林田早代^{はやしだきよ}ハウステンボス美術館学芸員）を開催。作品解説では同館の紹介から始まり、エッシャーがどのような人物で、どういった作品を作っていたのか、作風の変化の様子などを年代ごとに詳しく解説。参加者の中にはメモを取りながら熱心に話に耳を傾けている方もいました。また、作品に使われた素材や技法等についても分かりやすく解説していました。



林田学芸員が特に好きな作品は『カルヴィの松林（コルシカ）』というもので、この作品からは歌川広重の『名所江戸百景 亀戸梅屋敷』と

いう浮世絵を思い出したそうです。エッシャー作品の中には、この他にも日本に影響を受けたと思われる作品があるそうです。また、『メビウスの輪 I』という作品については仕組みについて実演があり、参加者からも驚きの声が出ていました。

作品を観ただけでは分からない部分を詳しくお話し頂き、参加者も林田学芸員の穏やかで優しい語り口の中、ゆったりとした時間を過ごし、作品の魅力に触れることが出来たのではないかと思います。

詳しい展覧会情報は

当館HPをご覧ください。

<http://www.akashibunpaku.com>

次回の「博物館だより」をお楽しみに。

